

GFX ETERNA 55



GFX ETERNA 55

more info <https://fujifilm-x.com/ja-jp/products/cameras/gfx-eterna-55/>



FUJIFILM 富士フイルム株式会社 〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-3
デジタルカメラ関連製品についてのお問い合わせは **0570-04-1060**
音声ガイダンスにより担当窓口をご案内いたします
受付時間：月・土 9:30-17:30 ※日・祝日・年末年始を除く 上記電話番号をご利用いただけない場合は03-6625-2809へおかけください

FAXからご利用の場合は **050-3786-2060** 返信時間：月・土 9:30-17:30 ※日・祝日・年末年始を除く

デジタルカメラ関連製品以外のお問い合わせは「お客様コミュニケーションセンター」へ **0570-04-1711**
受付時間：月・金 10:00-17:00 ※土・日・祝日・夏季休業日・年末年始を除く 上記電話番号をご利用いただけない場合は03-6625-2811へおかけください
※各受付時間は予告なく変更する場合があります

注意
安全上のご注意

●正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「使用説明書」および、「使用上のご注意」をよくお読みください。●水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないでください。火災、感電などの原因となることがあります。

デジタルカメラ **GFX ETERNA 55** のご相談・ご用命は

●Apple ProRes は、米国および他の国々で登録されたApple Inc. の商標です。●CFexpress™は、The CompactFlash Associationの商標または登録商標です。
●SDHC、SDXCは登録商標です。●Microsoft、WindowsおよびWindows 10、Windows 11は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。●MacOSは、米国および他の国々で登録されたApple Computer, Inc.の商標です。●HDMI、HDMI およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。●Bluetooth®のマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、富士フイルム株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。●その他の社名、商品名などは、日本および海外における各社の商標または登録商標です。●本カタログに記載されている商品は日本国内仕様です。保証書は日本国内でのみ有効です。●修理の一部の機種では、弊社の判断により保守サービスとして同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。その場合、旧機種で使用する消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応OSが変更になることがあります。●商品/パネルは非常に高精度の技術で作られています。0.01%以下の公差で点灯しないものや、常時点灯するものがあります。●本カタログに記載されている商品はクラスB情報処理装置で、一般財団法人VCCI協会基準に適合していますが、ラジオ、テレビなどの受信障害の原因になることがあります。●撮影、プリントされたものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。●仕様および外観は予告なく変更される場合がありますのでご了承ください。●カタログと実際の商品の色とは、印刷の関係で多少異なる場合があります。●お買い上げの際には製造番号をご確認ください。●商品には保証書がついています。お求めの販売会社で所定事項を記入した保証書を必ずお受け取りください。●オープン価格の商品はメーカー希望小売価格を定めておりません。価格に関しましては販売店にお問い合わせください。●プリントおよびモニター画面はハメコミ合成です。

ETERNA™ - その名は、永遠 (ETERNAL) を意味する。

富士フィルムがかつて映画フィルムに込めた思想が、

今、デジタルの時代に再び蘇る。

シネマの記憶、時の質感、心を動かす色。

表現者の感性を映す“フィルムメイキングカメラ”が新たに誕生。

不朽の名作を残すために、

富士フィルムの積み重なる英知が注ぎ込まれた一台。



GFX ETERNA 55

INDEX

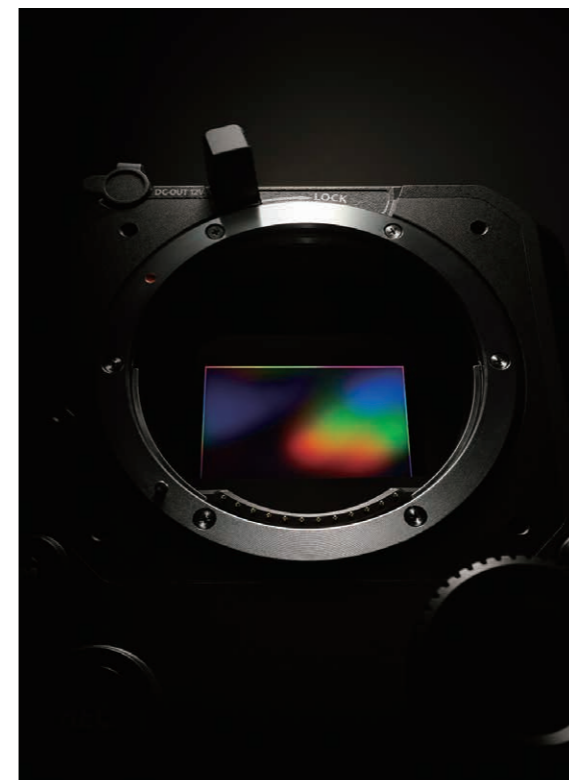
- 05 富士フィルムのルック
フィルムシミュレーションの開放
- 06 ラージフォーマットセンサー
- 07 ダイナミックレンジ
光学ローパスフィルター
- 08 Dual Base ISO
電子式可変NDフィルター
- 09 マルチフォーマット対応
コーデック
- 10 アナモフィック
オートフォーカス
- 11 フィルムメイキング・デザイン
PLマウントアダプター
- 12 5.0インチ大型モニター
- 13 専用ハンドル
ボタン配置
- 14 両面に搭載されたモニター
出力端子
- 15 アクセサリー取り付けネジ穴
バッテリー&メディア
- 16 Weather Resistant Body
- 17 GF32-90mmT3.5 PZ OIS WR
- 19 スペック





富士フィルムのルック

90年以上にわたり写真・映画用フィルムで培われたFUJIFILM独自の色再現技術が、このラージフォーマットセンサーと融合することで、デジタルでありながらフィルムのように、温かく、柔らかく、そして“懐かしさ”すら感じさせる色づくりを搭載。GFX ETERNA 55が新たな映像制作の自由をもたらす。



センサーサイズ
43.8mm×32.9mm

35mmフルサイズ 約1.7倍

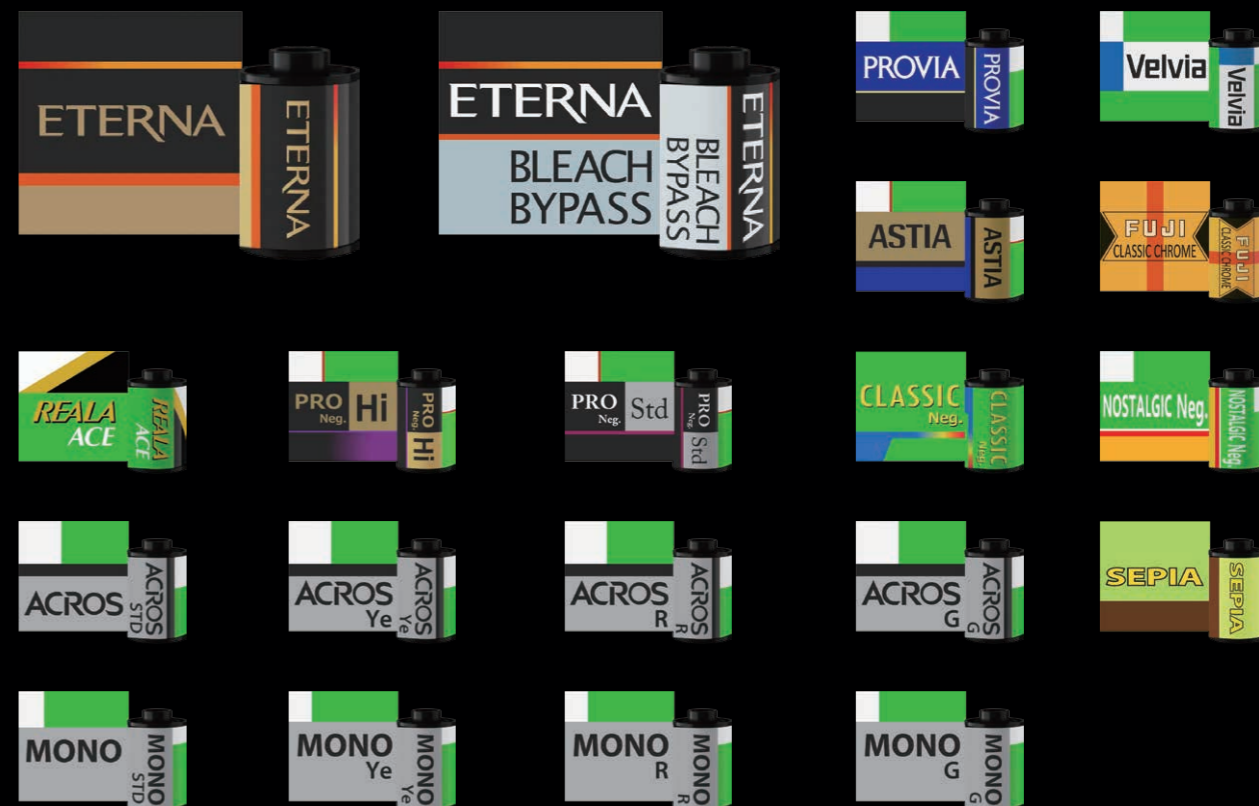
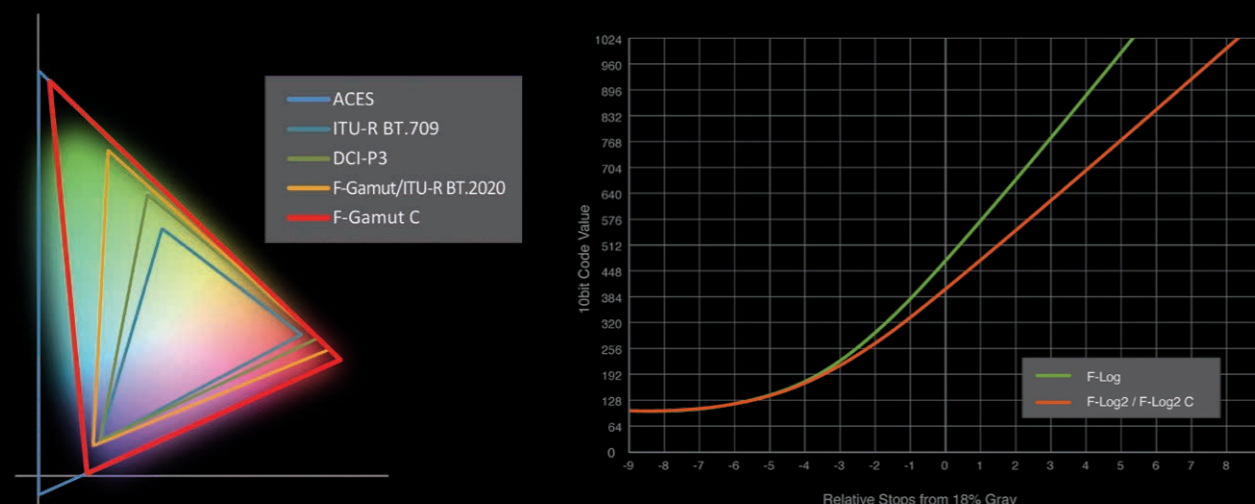
ラージフォーマットセンサー

GFX ETERNA 55は、44mm×33mm (対角55mm)というラージフォーマットセンサーを搭載した、フィルムメイキングカメラとして設計された一台。従来の35mmフルサイズを超える圧倒的なセンサーサイズが、光の情報を余すところなく受け止め、これまでの映像にはなかった“奥行きと温度”を描き出す。階調の滑らかさ、シャドウの奥に潜むディテール、ハイライトに宿る空気感。光のわずかな揺らぎすらも映し取るセンサーは、暗所でもノイズの少ないクリアな描写を可能にし、肌の質感を丁寧に描く。GFX ETERNA 55は、映像に携わる人々が本来持っていた「光で語りたい」という思いを叶えるカメラである。

フィルムシミュレーションの開放

20種類のFilm Simulationを搭載。さらにFUJIFILMが開発した広色域・広ダイナミックレンジの「F-Log2C/F-Gamut C」を使えば、ポストプロダクションにおいて、FUJIFILMの歴代フィルムを含め、全10種類*のFilm Simulation LUTが活用できる。Velvia、ASTIA、Classic Chrome、そしてETERNA…名だたるフィルムストックたちが、編集時に“色の記憶”として立ち上がり、これまで写真で評価されてきたその表現力を、映像制作の中で自在に呼び出すことができる。これは、ただの色調整ではない。かつて映画フィルムにストーリーを込めていた作業を、デジタルで編集を可能にする。

* PROVIA /スタンダード、Velvia /ビビッド、ASTIA /ソフト、クラシッククローム、REALA ACE、PRO Neg.Std、クラシックネガ、ETERNA /シネマ、ETERNA プリーチバイパス、ACROS



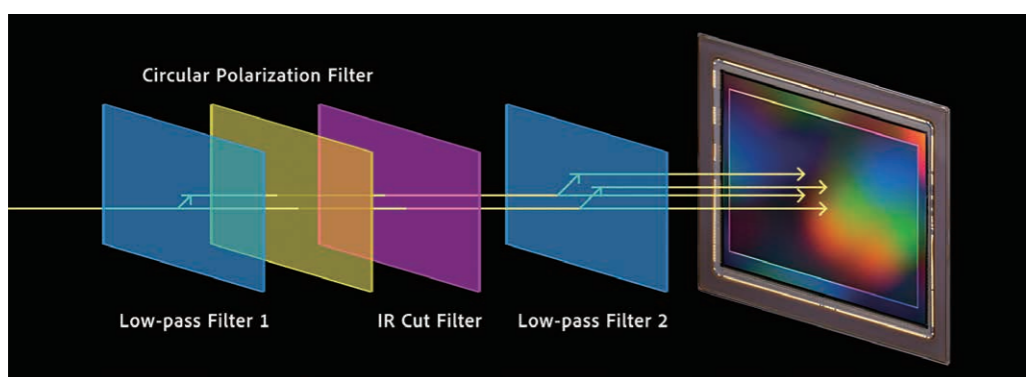


©Oren Soffer

ダイナミックレンジ

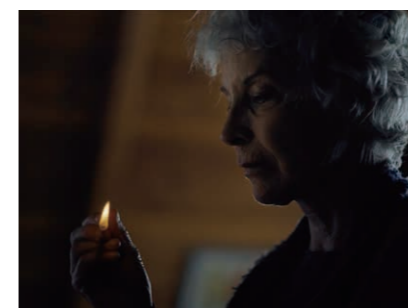
GFX ETERNA 55は、広域ガンマを採用した「F-Log2C」を搭載。最大14+ストップ*の広大なダイナミックレンジを実現し、階調を豊かに表現する。暗部からハイライトまで、光の微細な階調を余すことなく記録し、ポストプロダクションの過程で、製作者の意図に沿った調整が可能。広色域の記録と相まって、色とコントラストの表現が無限に広がることになる。

* F-Log2C時、FUJIFILM内部測定



光学ローパスフィルター

GFX ETERNA 55のラージフォーマットセンサーに、動画撮影のために最適化された専用設計のOLPF (光学ローパスフィルター) を搭載。モアレや偽色を最適に低減する4点分離方式を採用。GFX ETERNA 55では、シネマ表現に求められる柔らかく、品位ある画作り狙いを定め、高精細でありながら、過剰にシャープすぎず、心地よい滑らかさを保った映像記録を実現している。



©Oren Soffer

ISO 800

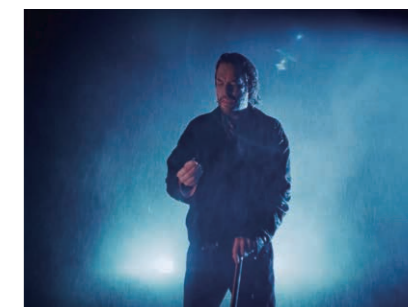


©James Tonkin



©Oren Soffer

ISO 3200



©James Tonkin

Dual Base ISO

GFX ETERNA 55の44mm×33mmのラージフォーマットセンサーは、一般的なフルサイズセンサーよりも約1.7倍の大きさと、その最大の効果を得られるBASE ISOは800と3200の二つ。滑らかな階調表現と低ノイズ性能を実現した。暗部や逆光、夜間撮影といった難しいシーンでも、デジタル特有のザラつきを抑えながら、しっかりとその空間を描く。GFX ETERNA 55のセンサーが映像制作者にとって新たなインスピレーションの源となるだろう。



電子式可変NDフィルター

ラージフォーマットセンサーに対応した電子式可変NDフィルターを本体内蔵。ND0.6からND2.1まで、最大7段の減光が可能。しかもND0.015刻みで滑らかな濃度制御を実現した。FUJIFILM独自の緻密な制御設計により、動画撮影中であってもスムーズかつ、色のシフトが少ない高精度な濃度調整を可能としている。現場の光に即応しながら、意図した露出を瞬時に設定することができ、圧倒的に効率的な撮影を可能にする。



© James Tonkin



© Oren Soffer

アナモフィック

アナモフィックレンズを使った多彩なシネマティックな映像表現を、4:3のラージフォーマットセンサーが捉える。アナモフィックレンズ特有の横長の画角や楕円形のボケ、水平フレアといった描写は、物語に深みを与える演出手法として多くの映画作品で用いられてきた。GFX ETERNA 55では、撮影時から対応したデスクイーズ表示が可能であり、現場でのモニタリング環境にも配慮されている。ラージフォーマットセンサーの広大なイメージサークルとアナモフィックレンズの特性を掛け合わせることで、従来にはなかった立体感と奥行きを持った映像表現が実現可能となる。

マルチフォーマット対応

43.8mm×32.9mmのラージフォーマットセンサーの広大な撮像面を余すことなく活用できる4:3の“Open Gate”撮影に対応。さらにFUJINON GFレンズやPremistaレンズはもちろん、一般的な35mm対応のPLレンズでも8K/4K DCIでの撮影が可能。加えて、アナモフィックレンズやSuper35mmフォーマットのレンズにも対応し、撮影意図に応じた画角を自在に選択できる。大きなセンサーサイズならではの豊かな映像表現と、あらゆるレンズ・フォーマットへの高い親和性を備えたこのカメラは、クリエイターにとって強力な表現ツールとなり、映像制作の自由度をこれまでにない領域へと押し広げる。

※ 各フォーマットにおける解像度や最大fpsは仕様にてご確認ください

コーデック

記録コーデックには、ポストプロダクションでも高い信頼性を誇るApple ProRes HQをメインコーデックとして採用。高品位な画質と編集耐性を両立し、現場から仕上げ工程までのシームレスなワークフローを実現する。最大8K/30pから、4K/60p、HD/120pまでをカバー。ラージフォーマットセンサーが描く豊かな諧調と色彩を、状況に応じた最適なフォーマットで記録可能。シネマティックな長編映画から、柔軟なフレーム設計が求められるCM、ハイスピードを活かしたアート作品まで、ジャンルを問わず対応できる汎用性の高さも大きな魅力である。



オートフォーカス

GFレンズを装着することで高精度なオートフォーカス撮影が可能となる。AFアルゴリズムには、GFX100 IIと同等の先進技術を搭載しており、ディープラーニング技術を用いて開発した被写体検出AFを用いてシーン全体の情報を高速かつ高精度に解析。これにより、ラージフォーマットセンサーならではの浅い被写界深度の中でも、意図したフォーカスを正確に追従することができる。新発売のGF32-90mmT3.5 PZ OIS WRを使えば、撮影現場での機動力を大きく高め、現場でも大きな役割を担うことになるだろう。



フィルムメイキング・デザイン

あらゆる映像制作者の「撮影意欲」を引き上げるデザイン。マグネシウムを使った筐体設計。ケーブルの各端子、ボタン配置、ハンドル、小型軽量でありながら利便性と堅牢性を細部にまで追求した。当社デジタルカメラGFX、Xシリーズの血筋を引く削ぎを多用し実寸よりも小さく見える八角形のフォルムにまとめた。



PLマウントアダプター

GFX ETERNA 55には、標準搭載のGマウントに加え、PLマウントアダプターが同梱されており、追加のアクセサリ購入なしに、PLマウントレンズを即座に使用することが可能。アナモフィックレンズも含め、レンズによる表現の“余白”を尊重する——それがGFX ETERNA 55の本質である。

※使用できるレンズに関しましては、事前にご確認ください



5.0インチ大型モニター

本機では5.0インチという大型ディスプレイを採用。622万画素の高解像度パネル（miniLEDバックライト・量子ドット搭載）は、ピントや色の確認が圧倒的にしやすく、撮影現場での高い判断精度をもたらす。さらに輝度は2000ニットで、屋外や強い逆光下においても視認性を損なわず表示遅延も極限まで抑えられており、リアルタイムでの動作確認やフォーカス操作においてストレスがない。加えて、同社独自の色再現技術が活かされており、忠実な色表示が可能。キャリブレーションの負荷を軽減し、撮影から編集までの色の一貫性を高精度に保つことができる。

専用ハンドル

高い操作性と機能性を兼ね備えた専用ハンドルも同梱。ハンドル側面には、「フォーカス」「ズーム」「アイリス」に対応したダイヤルが搭載されており、電子制御に対応したレンズ使用時には、滑らかな指先操作によって即座に各パラメーターを微調整することが可能。さらに、ダイヤルの設定を「ND」に切り替えることで、電子式可変NDフィルターの濃度をリアルタイムでスムーズに制御することができる。加えて、ハンドル取り付け部にはスライド式レール機構を採用。バッテリーやレンズ装着時の全体重量バランスに合わせて重心位置をワンタッチで調整可能。



ボタン配置

操作のシーンや種類を考慮し、撮影を中断することなく進められるよう配置された操作ボタン。7つのカスタムボタンに加え、両サイドのモニターには、GUIと連動するボタンが計12個配置されている。ワンマンオペレーションでも、直感的で、効率的なカメラセッティングを行えるようになっている。



GFX ETERNA 55

FUJIFILM

両面に搭載されたモニター

GFX ETERNA 55は、撮影現場の実践的なニーズに応えるため、本体の左右それぞれに独立した3インチの液晶モニターを搭載。録画ステータスや露出、音声、収録フォーマットなどの撮影情報がリアルタイムに表示され、カメラマンとアシスタントカメラマンの双方が同時に確認することが可能。プロの現場で求められるコミュニケーションの精度と効率を支える仕様となっている。



出力端子

GFX ETERNA 55は、12G-SDIとHDMIの映像出力端子に加え、GEN LOCK、REMOTE、DC OUT 12V 端子、レンズ端子など、プロユースに対応した豊富なインターフェースを搭載している。マルチカメラ収録や当社Duvoレンズへの電源供給などに幅広く対応し、撮影現場における柔軟なシステム構築を実現。さらに、各端子を物理的損傷から守るプロテクトガードを装備しており、堅牢な設計が施されている。

アクセサリ 取り付けネジ穴

カメラ本体上部および同梱のハンドルグリップには、大小2種類のねじ穴(1/4インチおよび3/8インチ)が多数切られており、モニター、マイク、ワイヤレス送信機など、あらゆる周辺機材を簡単に取り付け可能。追加の外部リグを必要としない設計を実現。



Weather-Resistant Body

GFX ETERNA 55は、フィルムメイキングカメラとして高画質・高性能を追求する一方で、過酷な現場環境にも耐える優れたタフネス性能を備えている。ボディ全体には防塵・防滴構造(Vバッテリー端子部除く)が施されており、砂塵舞うロケ地や急な天候変化が起こる野外撮影など、厳しい環境下においても安心して使用できる設計となっている。さらに、放熱構造と静音冷却ファンを採用することで安定して長時間の撮影が可能。



バッテリー&メディア

バッテリー

Vマウントバッテリーと富士フィルム製NP-W235バッテリーの併用設計を採用。メイン電源としてVマウントバッテリーを使用しながらも、NP-W235バッテリーを同時に装着することで、撮影中でもVマウントバッテリーのホットスワップ(通電を保ったままの交換)^{※1}が可能となっている。さらに、NP-W235バッテリー単体でも約30分^{※2}の連続運用が可能であり、短時間の撮影やドローン/ジンバル搭載時など、軽量化を求められる状況にも柔軟に対応。

※1 動画記録中は動画記録が自動で中断されます

※2 25°C環境下

メディア

メイン収録メディアとして高速・高信頼性のCFexpress Type Bカードを採用。これにより、8K/30pの高解像度映像やProRes HQなどの高ビットレート収録にも余裕をもって対応し、スムーズで安定した記録性能を実現しており、プロキシ収録など柔軟なシステムが構築できる。また、サブスロットとしてSDカードスロットも搭載しており、H.265の場合は、SDカードへバックアップ記録が可能。



GF32-90mmT3.5 PZ OIS WR



その眼差しに、力を

1本で準広角から標準域までをカバーする電動ズームレンズは、小規模なプロダクションをはじめ、幅広い現場で力を発揮する存在だ。このレンズは映像制作の現場で、圧倒的な表現の多様化や作業の効率化を実現するだろう。

さらに「GFXシステム」が持つ豊かな階調表現、精緻な描写、高い解像力と組み合わせることで、ラージフォーマットセンサーならではの細やかなディテール描写が可能となる。限られた時間の中において、様々な画角で、妥協のない最高画質を次々と捉えていく。GF32-90mmT3.5 PZ OIS WRとGFX ETERNA 55の組み合わせは、映像表現の新たな地平を切り拓くものである。

小型軽量・シネマ画質

世界中の映像制作現場で使われるシネマレンズ「Premistaシリーズ」の操作性とルックを継承しつつ、小型化・軽量化を実現。EDレンズ3枚、非球面レンズ3枚を含む19群25枚の贅沢なレンズ構成。ズーム全域にて開放値T3.5を保ち、13枚の羽根絞りからなる円形に近い美しいボケ味が特徴。長年のレンズ加工技術で磨き上げた薄肉レンズ加工技術に加え、リアフォーカス方式を採用し、ラージフォーマット対応レンズながらも全長約222mm、質量約2.1Kgと大幅な小型・軽量化を達成した。



電動パワーズーム

焦点距離32-90mm (35mm判換算: 25-71mm相当)の準広角から標準域をカバーする電動パワーズームレンズ。レンズ交換不要で、あらゆる画質を捉えることができる一本。ズームモードスイッチを切り替えることで、即座にズームレバーによるズーム操作が行える。ENCスタイルの撮影から、効果を狙った映画賞士まで自由自在。「GFX ETERNA 55」と組み合わせればカメラ本体のマルチファンクションダイヤルからズーム操作可能。



映像制作に最適なAFとOIS

アクティブなシーンでもフォーカスを的確に捉え、フォーカス群の移動量を最小限に抑えることで、高速・高精度・静音のオートフォーカス (AF) を実現。速度を優先するだけでなく描写性能にもこだわった光学設計により、ピント位置による画質の変化を抑え、常に安定した描写を可能にする。さらに、手ブレのセンシング精度の向上と、最新の手ブレ補正機構 (OIS) の機構設計による強力な手ブレ補正機構を搭載。ドキュメンタリーの手持ち撮影などのラン・アンド・ガンスタイルで威力を発揮。

シネマレンズとしての操作性

フォーカス、ズーム、アイリスの各リング操作に応じてダイレクトにモーターを高速駆動することで、リング操作の追従性と指標位置精度の両立を実現した。また、シネマレンズ標準の0.8M (モジュール) ギアピッチを採用し、フォローフォーカスやレンズモーターといった標準的な周辺アクセサリが使用できる。フォーカスリングには200度の幅広い回転角を採用。被写界深度の浅いシーンでも精緻なフォーカシングが可能となっている。



いかなる場所でも

GF32-90mmT3.5 PZ OIS WRは、防塵防滴対低温構造。多少の雨や砂埃、あるいは極寒の現場であっても、撮影が止まることはない。過酷な環境で、このレンズはその瞬間を捉え続ける。

主な仕様

形式	GF32-90mmT3.5 PZ OIS WR
レンズ構成	19群25枚 (非球面レンズ3枚)
イメージサイズ	43.8×32.9mm
焦点距離	f=32-90mm (35mm判換算: 25-71mm相当)
画角	81.0°-33.8°
最大口径比 (開放絞り)	T3.5
最小絞り	T32
絞り形式 羽枚数:	13枚 (円形絞り)
最短撮影距離 (撮像素子面からの距離)	広角: 0.8m~∞、望遠: 0.8m~∞
最大撮影倍率	0.06倍 (ワイド端)
外形寸法 最大径 (前枠径) ×長さ※1 (約)	φ123.5mm (φ114mm) ×222.5mm
質量※2 (約)	2140g
フィルターサイズ	Φ111
同梱品	レンズフロントキャップ、レンズリアキャップ、サポートフット、ズームレバー、レンズケース

※1 先端よりマウント基準面まで

※2 レンズキャップ、フード、三脚座含まず

スペック

GFX ETERNA 55 仕様		FUJIFILM GFX ETERNA 55	
レンズマウント	FUJIFILM Gマウント		
撮像素子	43.8mm×32.9mm GFX 102MP CMOS II HSセンサー 原色フィルター採用		
画素数	約1億200万画素		
NDフィルター	電子式可変NDフィルター 0.6 (ND4)～2.1 (ND128)		
ガンマ	フィルムシミュレーション、F-Log2、F-Log2 C、F-Log、HLG		
LUT選択	カメラに保存出来る3D-LUTは16ファイルまで。対応cube (17/33/65)、ファイル名は48文字まで		
冷却ファン設定	AUTO1、AUTO2、低速、高速		
センサークリーニング	圧電素子による超音波方式		
画像処理エンジン	X-Processor 5		
記録メディア※1	SDメモリーカード(～2GB) / SDHCメモリーカード(～32GB) / SDXCメモリーカード(～2TB) / UHS-I対応 / UHS-II対応 / ビデオスピードクラスV90対応 / CFexpress Type Bカード(～2TB) / SSD(～2TB)		
撮影感度	標準出力感度	AUTO / ISO400～12800 (1/3ステップ)	
	拡張モード	ISO100～ISO320 (1/3ステップ)、ISO25600	
測光方式	TTL256分割測光 マルチ/スポット/アベレージ/中央重点		
露出補正	-2.0EV～+2.0EV (1/4ステップ)		
ダイナミックレンジ	14+Stop (F-Log2 / F-Log2 C)		
シャッタースピード/シャッターアングル	1/8秒～1/8000秒 / 5.6°～360°		
フォーカス	モード	コンティニュアスAF / MF (リング回転式)	
	AF方式	インテリジェントハイブリッドAF (TTLコントラストAF / 位相差AF)	
	低輝度性能	コントラスト:-0.7EV (GF80mmF1.7レンズ装着時) / 位相差:-3.7EV (GF80mmF1.7レンズ装着時)	
	AFフレーム選択	シングルポイントAF: 13×9 / 25×17のエリア選択、フォーカス枠サイズ可変 ソーンAF ワイド/トラッキングAF: AF (オートエリア/トラッキング/エリア選択) / MF (エリア選択) オール	
顔・瞳検出機能	あり		
被写体検出機能	あり(人物/動物/鳥/クルマ/バイク&自転車/飛行機/電車)		
側面モニター	3.0型タッチパネル付きTFTカラー液晶モニター※2 3:2アスペクト 約104万ドット		
動画※3	記録方式	Apple ProRes 422 HQ, リニアPCM ステレオ (24bit/48kHzサンプリング)	
	MXF、MOV	Apple ProRes 422, リニアPCM ステレオ (24bit/48kHzサンプリング) Apple ProRes 422 LT, リニアPCM ステレオ (24bit/48kHzサンプリング) HEVC/H.265, リニアPCM ステレオ (24bit/48kHzサンプリング)	
動画圧縮方式	All Intra / Long GOP		
プロジェクトFPS	59.94p/50p/48p/47.95p/29.97p/25p/24p/23.98p		
記録画素数/	[8K (17:9) 8192×4320] 24p/23.98p/22p		
フレームレート	[8K (16:9) 7680×4320] 29.97p/25p/24p/23.98p/22p [8K (2.76:1) 8192×2968] 24p/23.98p/22p [6.3K (16:9) 6382×3590] 29.97p/25p/24p/23.98p/22p [5.8K (2.39:1) 5824×2436] 29.97p/25p/24p/23.98p/22p [5.4K (17:9) 5440×2868] 29.97p/25p/24p/23.98p/22p [4.8K (3:2) 4776×3184] 24p/23.98p/22p [4.8K (16:9) 4776×2688] 29.97p/25p/24p/23.98p/22p [4.6K (1.38:1) 4664×3380] 24p/23.98p/22p [4K (1.195:1) 4040×3380] 24p/23.98p/22p [DCI4K (17:9) 4096×2160] 59.94p/50p/48p/47.95p/29.97p/25p/24p/23.98p/22p [4K (16:9) 3840×2160] 59.94p/50p/48p/47.95p/29.97p/25p/24p/23.98p/22p [4K (4:3) 3840×2880] 48p/47.95p/29.97p/25p/24p/23.98p/22p [Full HD (17:9) 2048×1080] 119.8p/100p/59.94p/50p/48p/47.95p/29.97p/25p/24p/23.98p/22p [Full HD (16:9) 1920×1080] 119.8p/100p/59.94p/50p/48p/47.95p/29.97p/25p/24p/23.98p/22p		

動画※3	ビットレート	720Mbps / 360Mbps / 200Mbps / 100Mbps / 50Mbps
	(全画素共通)	All Intraは720Mbps、360Mbpsのみ
フィルムシミュレーションモード	プロキシ	H.264、ProRes Proxy、OFF
		20モード (PROVIA/スタンダード、Velvia/ビビッド、ASTIA/ソフト、クラシッククローム、REALA ACE、PRO Neg.Hi、PRO Neg.Std、クラシックネガ、ノスタルジックネガ、ETERNA/シネマ、ETERNAプリーチバイパス、ACROS、ACROS+Yeフィルター、ACROS+Rフィルター、ACROS+Gフィルター、モノクロ、モノクロ+Yeフィルター、モノクロ+Rフィルター、モノクロ+Gフィルター、セピア)
ホワイトバランス	オート	ホワイト優先 / AUTO / 雰囲気優先
	カスタム	カスタム
	マニュアル	色温度 (2000K～11000K)、CC (-16.00～+16.00)
ワイヤレス転送部	準拠規格	IEEE802.11a/b/g/n/ac (無線LAN 標準プロトコル)
	暗号化方式	WPA2 / WPA3
	アクセス方式	インフラストラクチャーモード
Bluetooth®	準拠規格	Bluetooth Ver. 4.2 (Bluetooth low energy)
	使用周波数範囲 (中心周波数)	2402～2480MHz
入出力端子	デジタル入出力	USB Type-C
	HDMI出力	HDMI端子 (Type A)
	LAN端子	LAN端子 1000BASE-T、100BASE-TX、10BASE-T
	その他	φ3.5mmステレオミニジャック (マイク用)、φ3.5mmステレオミニジャック (ヘッドホン用)、φ2.5mm3極ミニジャック (リモートレリーズ兼用)、TC IN / TC OUT 端子、GenLock 端子、12G SDI 端子: 最大4K 59.94p / 12G/6G/3G規格対応 / SD規格非対応、レンズ接続用12ピン端子: 14V-0.5A (ピーク1.5A) 電源供給、Vマウントバッテリー端子、ハンドル用接続端子、DC OUT 12V 端子: 12V 3A、LCDモニター接続端子、DC IN 端子
	電源	充電式バッテリー NP-W235 (リチウムイオンタイプ)※4 / DC入力: AC-15VS※4 / Vマウントバッテリー
本体外形寸法	[幅] 110.8mm × [高さ] 138.2mm × [奥行き] 176.8mm	
質量	約2.0kg (バッテリー、メモリーカード含まず)	
動作環境	温度	-10°C～+40°C
	湿度	10%～80% (結露しないこと)
消費電力	標準消費電力	21W (レンズ付、4K 16:9、59.94P、ProRes HQ、冷却ファン Auto1、LCDモニター・ハンドル以外の周辺機器 含まない)
	最大消費電力	49W (レンズ付、4K 16:9、59.94P、ProRes HQ、冷却ファン 高速、周辺機器 含む、DC OUT 12V 非接続)
付属品	充電式バッテリー NP-W235 (リチウムイオンタイプ) / ACパワーアダプター AC-15VS / ACケーブル / ボディキャップ / ハンドル / LCDモニター / LCDモニターフード / LCDアタッチメント / PLマウントアダプター	

※1 動作確認機種は、デジタルカメラ対応情報 (<https://fujifilm-x.com/support/compatibility/cameras/>) でご確認ください

※2 左右両面

※3 *動画フォーマットによって選択できるモードが異なります *動画を撮影するときは、CFexpress Type Bカード、またはUHSスピードクラス3以上のSDメモリーカードをご使用ください *360Mbpsで収録する場合はCFexpress Type Bカード、またはビデオスピードクラスV60以上のSDメモリーカードをご使用ください *720Mbpsで収録する場合はCFexpress Type Bカード、またはビデオスピードクラスV90以上のSDメモリーカードをご使用ください *設定によって選択可能なビットレートが異なります *Apple ProResコーデックはCFexpress Type Bカードにのみ記録可能です *Apple ProResコーデックのビットレートは選択できません *気温や撮影条件などにより記録時間が短くなることがあります ※最大撮影FPSより大きいプロジェクトFPS設定はできません

※4 付属